

■ アレスダイナミック防水フィラー 標準塗装仕様(通常仕様) 適用下地 コンクリート・モルタル・窯業系サイディングボード・ALCの各種旧塗膜



工 程	塗料名・処置	塗装方法	標準所要量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	希釈率 (重量%)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)
素地調整	劣化した旧塗膜をディスクサンダー、スクレーパー、皮スキ、ワイヤーブラシを用いて除去する。 エフロ・レイタンス・ゴミ・汚れなどは、ワイヤーブラシ・サンドペーパー・ウエスを使用して除去する。モルタルの場合、浮き・クラックなどは適切な処置を行う。				
下 塗	<b>アレスダイナミック防水フィラー</b>	多孔質ローラー(細目) 多孔質ローラー(標準目)	0.50~1.50	1~5	8時間以上7日以内
上塗1回目	アレスダイナミックTOP	ハケ・ローラー	0.12~0.14	5~10	2時間以上7日以内
上塗2回目	アレスダイナミックTOP	ハケ・ローラー	0.12~0.14	5~10	—

アレスダイナミック防水フィラー 16kg

- 〈適用下塗〉
- ・アレス水性エポレジン:15kgセット(ベース/12.5kg、硬化剤/2.5kg)
  - ・浸透形Mシーラー:15kgセット(ベース/12kg、硬化剤/3kg)
  - ・マルチタイルコンクリートプライマーEPO:20kgセット(ベース/16kg、硬化剤/4kg)

- 〈適用上塗〉
- ・アレスダイナミックMUKI:15kg
  - ・アレスダイナミックTOP:15kg
  - ・アレスアクアセラフツ:15kgセット(ベース/14kg、硬化剤/1kg)
  - ・アレスアクアセラシリコン:15kgセット(ベース/14kg、硬化剤/1kg)
  - ・アレスアクアシリコンACII:15kg
  - ・コ ス モ シ リ コ ン:15kg



KANSAI PAINT

MADE IN JAPAN

〈施工上の注意事項〉

- ①塗り替えの場合、旧塗膜の劣化が著しいときはサンダー、ワイヤーブラシ等でぜい弱な塗膜を除去し高圧水洗を行なったのち、1日乾燥後塗装してください。乾燥時間が少ない場合は強化剤をご使用ください。
- ②使用前に塗料を均一にかき混ぜてください。特に濃色系塗料は長く放置されると容器内で分離(顔料沈降)することがありますので、十分攪拌の上、ご使用ください。
- ③軽量PC板、押出成型板、GRC板などの緻密な素材には、マルチタイルコンクリートプライマーEPO、浸透形Mシーラーをご使用ください。
- ④軽量モルタル、ALCパネル、高断熱型窯業系サイディングおよび発泡ウレタンなどを使用した壁断熱工法などの「高断熱型外壁」を塗り替える際、旧塗膜が溶剤系アクリルトップである場合は蓄熱や水の影響、塗装後の環境などいくつかの条件が重なることで、塗膜のふくれが生じることがあります。旧塗膜をラッカーシンナー拭きして簡単に塗膜が再溶解する場合は、下塗に「マルチタイルコンクリートプライマーEPO」を塗装してください。
- ⑤ハケ塗りで補修塗りを行う際、ローラー塗りとの仕上り肌や希釈率の違いによる色相差が生じることがありますので、ご注意ください。
- ⑥合成皮革、ゴムパッキン、塩化ビニル製品などと塗膜の接触は避けてください。可塑剤のブリードによる粘着が起こる場合があります。
- ⑦汚れ、傷などにより補修塗りが必要な場合がありますので、使用塗料の控えは必ずとっておき、同一塗料、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
- ⑧素材、旧塗膜の種類などの状態で塗付量の増減があります。
- ⑨希釈率は、環境温度や湿度によって変化する場合があります。
- ⑩塗装用具などは、その日のうちに洗浄してください。(反応形塗料のため固まってしまう。)ハケ、中毛ローラーなどは水で落ちにくい場合、ラッカーシンナーを用いて洗浄してください。多孔質ローラーはシンナーで洗浄すると膨潤しますのでお湯で洗浄してください。
- ⑪本製品は湿潤面には対応しておりません。

〈ご使用上の注意事項〉

下記の注意事項を守ってください。詳細な内容については安全データシート(SDS)をご参照ください。

【予防策】  
取り扱い作業中・乾燥中とともに換気の良い場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護メガネ・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。  
皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛を着用すること。  
本来の目的以外に使用しないこと。  
指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。  
缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。  
取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。  
使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。  
本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

【対 応】  
目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。  
皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。  
吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。  
飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。  
漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。  
火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

【保 管】  
指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

【廃 棄】  
本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)

【施工後の安全】  
本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。  
例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

関西ペイント販売株式会社 関西ペイントホームページ [www.kansai.co.jp](http://www.kansai.co.jp)

北海道 TEL (0133) 64-2424 FAX (0133) 64-5757 東京 TEL (03) 5711-8905 FAX (03) 5711-8935 中国 TEL (082) 262-7101 FAX (082) 264-3285  
東北 TEL (022) 287-2721 FAX (022) 288-7073 中部 TEL (052) 262-0921 FAX (052) 262-0981 四国 TEL (0877) 24-5484 FAX (0877) 24-4950  
北関東圏 TEL (028) 637-8200 FAX (028) 637-8223 大阪 TEL (06) 6203-5701 FAX (06) 6203-5603 九州 TEL (092) 411-9901 FAX (092) 441-3339

※製品改良のため仕様は予告なしに変更することもございますのでご諒承ください。

(17年08月01冊PKO) カタログNo.821

# ALES DYNAMIC BOUSUI FILLER

水性反応硬化形 低飛散多機能弾性下地調整材

## アレスダイナミック防水フィラー



関西ペイント

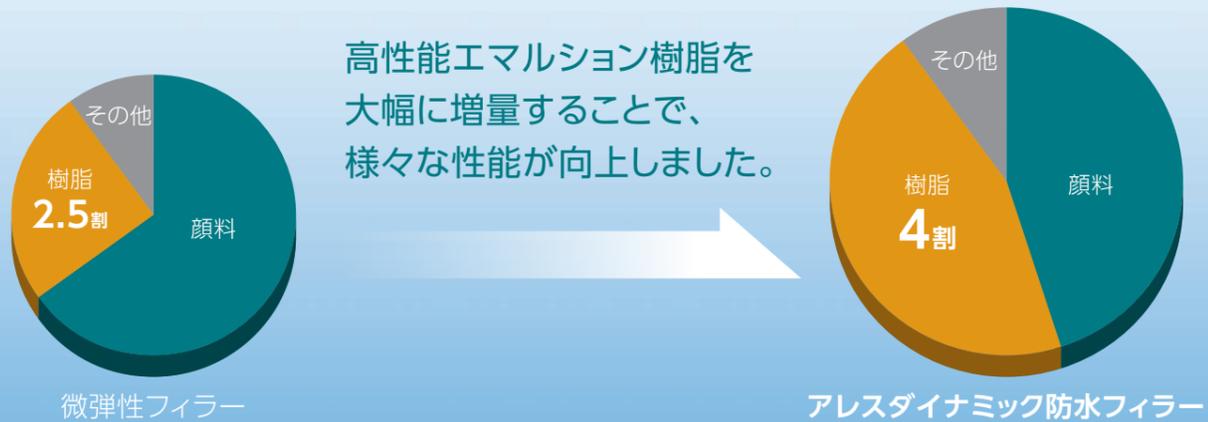
# アレスダイナミック防水フィラー

高性能エマルジョンを大幅に増量することで様々な性能を発揮!

塗装時の飛散も少なく「強風対策」や「高層建造物の塗装」などに最適です!

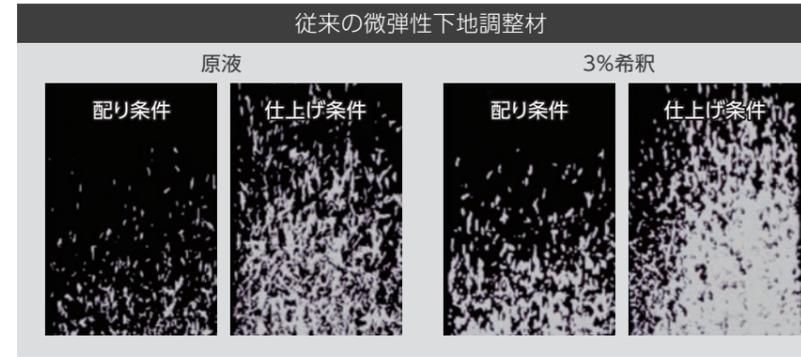
さらに、ローラーの転がりが軽く塗り易いので

生産性向上や工期短縮にもつながります。



## 1 ローラーが軽く超低飛散です。

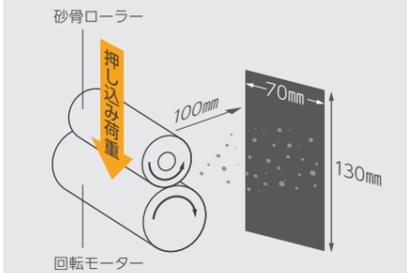
塗装時の飛散が少ないので近隣への配慮も万全です。



飛散が心配な超高層の塗装工事に最適

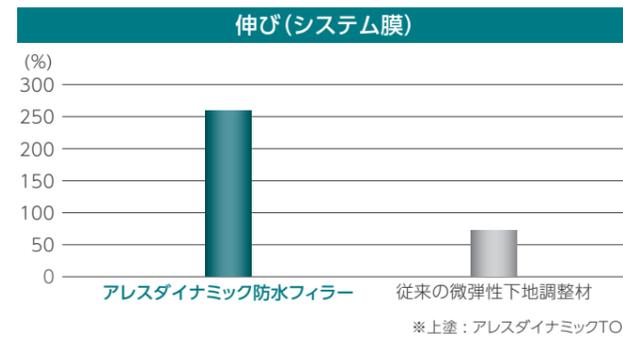
低飛散性の確認実験手法について

- ローラー  
4インチ 砂骨ローラー
- 塗料材料
- ①原液
  - ②従来の微弾性下地調整材 3%希釈
  - ③アレスダイナミック防水フィラー 原液
  - ④アレスダイナミック防水フィラー 2%希釈



配りイメージ条件	仕上げイメージ条件
回転速度: 240rpm	回転速度: 280rpm
ローラー含み量: 240g	ローラー含み量: 200g
押し込み荷重: 500g	押し込み荷重: 200g

## 2 塗膜の伸びに優れ、防水性に優れています。



## 3 優れた付着力です。

付着性に優れていますので、旧塗膜へのシーラーレス塗装が可能です。

旧塗膜	付着性	
	アレスダイナミック防水フィラー	従来の微弾性下地調整材
アクリルタイル	2.4	1.9
単層弾性	2.0	1.7

付着強度 (N/mm<sup>2</sup>)

## 4 肌が緻密で高仕上りです。

上塗りの吸い込みが少なく、仕上りに優れています。

## 5 防カビ・防藻性を有しています。

上塗との組み合わせにより、塗膜全体で防カビ・防藻性を伴わせることができます。

